

平成31年度



環境学習出前授業ご案内 (小・中学生)

出前授業等の講師を派遣します

小学校・中学校の授業などで環境教育の
普及活動を進めるためにご活用ください

特定非営利活動法人 えどがわエコセンター

運営：環境教育・人材育成委員会

環境教育等プログラム

〇はじめに

特定非営利活動えどがわエコセンターでは、区民・学校・事業者・行政が連携・協働して、地球温暖化、資源循環、自然共生など私たちが直面する様々な環境問題に皆さんとともに日々取り組んでいます。

本冊子は、小学校・中学校の総合的な学習の時間や生活科、理科や社会等の時間に活用していただく「環境教育プログラム」集です。

〇経 費

講師の謝金や交通費、材料費等、原則として無料

〇お申込み時にご配慮いただきたい事項

- ① 実施日の候補日時を3つ程度あげてください
- ② 実施日の一か月程度前に、会場及び備品の確認を含めて、打ち合わせをします
お打ち合わせ日程につきましても、複数日程をあげてください

〇申込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 えどがわエコセンター

〒134-0091 江戸川区 船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3階

TEL : 03-5659-1651 (受付時間: 平日 9:00-17:30)

FAX : 03-5659-1677 (受付時間: 24時間)

e-mail : edogawa-ecocenter2@bz01.plala.or.jp



まずはお気軽に上記、えどがわエコセンターまでお問い合わせください

○環境教育（総合的な学習の時間等）プログラム

★	No.	分類	名称	対象		詳細
	1	環境全般	地球の環境問題って何だろう？	小学生	高学年	P-3
	2	環境全般	地球の環境にやさしい生活を学ぶ ①		中学年	P-4
	3	環境全般	地球の環境にやさしい生活を学ぶ ②		特別支援学級	P-5
	4	環境全般	地球温暖化と私達の生活	中学生	全学年	P-6
	5	環境全般	都市ガスが家に届くまで	小学生	4年生以上	P-7
				中学生	全学年	
	6	環境全般	燃料電池ってなんだろう？ ～地球温暖化をふせぐために～	小学生	高学年	P-8
				中学生	全学年	
	7	環境全般	環境によいことをしよう！！	小学生	1年生	P-9
	8	環境全般	エコ工作を通してリサイクルを学ぶ		低学年	P-10
★	9	環境全般	南極での生活からエコな生活を学ぶ	小学生	全学年	P-11
★	10	環境全般	南極から考える私たちの生活	中学生	全学年	P-12
	11	省エネ	省エネ [＊] を活用した「夏休みのエコ」	小学生	高学年	P-13
	12	省エネ	どうやって【みどりのカーボン】ができるの？ ～摘芯と誘引～		中・高学年	P-14
	13	省エネ/節水 ごみの減量	育むエコ食 ～IJ・クッキングと食育を学ぼう～	小学生	高学年	P-15
				中学生	全学年	
	14	3R	リサイクルについて学ぶ	小学生	特別支援学級	P-16
	15	3R	リーフレット「3Rって何だろう？」		中・高学年	P-17
	16	3R	ごみを減らす方法を買うときから考えよう		高学年	P-18
	17	3R	あなたはどうやってごみを減らしますか？		中・高学年	P-19
	18	3R/自然	リサイクル木材で本棚をつくろう	小学生	中・高学年	P-20
				中学生	全学年	
	19	自然	校庭の自然をみつけよう	小学生	2年生	P-21
	20	自然	身近な生きものにふれてみよう ①		4年生	P-22
	21	自然	身近な生きものにふれてみよう ②		中学年以上	P-23
	22	自然	身近な生きものにふれてみよう ③		中学年以上	P-24
	23	自然	荒川の生きもの調べ		中学年	P-25
	24	自然	海洋教育出前授業	小学生	全学年	P-26
				中学生	全学年	
	25	自然	海洋教育プログラム	小学生	全学年	P-27
				中学生	全学年	

★平成 31(2019)年度新規追加プログラム

※対象や内容の変更についてはご相談に応じますので、お問い合わせください。

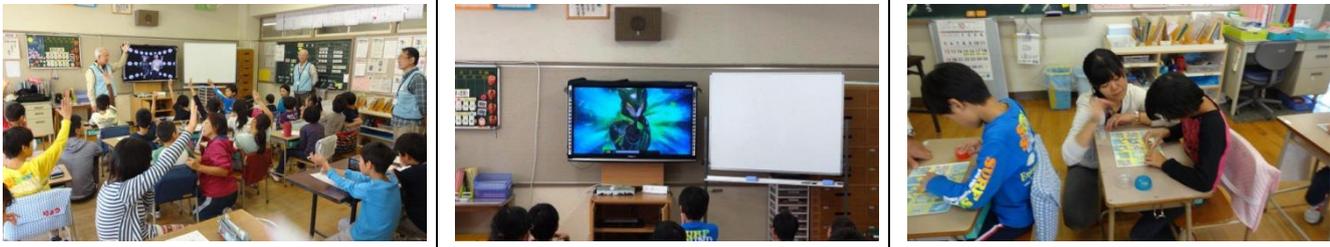
環境教育プログラム（総合学習等） No. 1

プログラム名		地球の環境問題って何だろう？			
特 徴		地球の環境問題について全体像を理解し、課題解決の取り組みにもつなげます。			
プ ロ グ ラ ム 概 要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル	
		4. 自然	⑤ 環境全般	6. 水・土・大気	
	学習のねらい	映像・画像・体験やクイズを交えながら地球温暖化の仕組みや問題点について知り、温暖化防止のために自分たちの日常や学校生活の中で生じた関心や疑問を考え身近なことから行動を起こす動機づけをします。また、相談に応じて、課題解決に向け取り組む学校への支援をします。			
	対象者	小学生 高学年			
	対象人数	30～100名			
	学習場所	教室、体育館			
	学習時間	45分×1（1時限目のみ）又は45分×2（1、2時限目）			
学習手順	<p>* 1時限目（45分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化について学ぶ <ol style="list-style-type: none"> 地球温暖化って言葉をよく聞くけど、どういうことなのか？ 温室効果ガスは、なんでどんどんふえちゃうのか？ 地球温暖化が進むとどうなるの？（事例：世界→国内→江戸川区） 地球温暖化防止の取り組み（事例：世界→国内→江戸川区 “もったいない運動”） <p>* 2時限目（45分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験学習（参加する生徒数によって複数の体験学習をします） （事例） <ol style="list-style-type: none"> 風力発電：大型うちわで風力発電装置を回し、再生エネルギーを理解する エネルギーの重さ：私達が1日に消費しているエネルギーの量を“重さ”体感する 二酸化炭素の計測体験：二酸化炭素の濃度を「ガス検知管」を使って測定し濃度のちがいがあることを確かめ、その理由を考えます <p>* 課題解決に向け取り組む学校への支援（要相談） 環境学習指導を基に環境問題に取り組む過程の中で、情報収集、整理・分析の仕方、まとめ方に対するゲストティーチャーとして支援します</p>				
					
実 施 団 体	団体名	イノシシ倶楽部		代表者名	
		いのししくらぶ		大和地 弘一（やまとじ ひろかず）	
	所在地等・連絡先	住所	〒133-0051 江戸川区北小岩5-31-8		
		TEL	03-3650-1610	FAX	03-3650-1610
		E-mail	yamatoji@mse.biglobe.ne.jp		

環境教育プログラム（総合学習等） No. 2

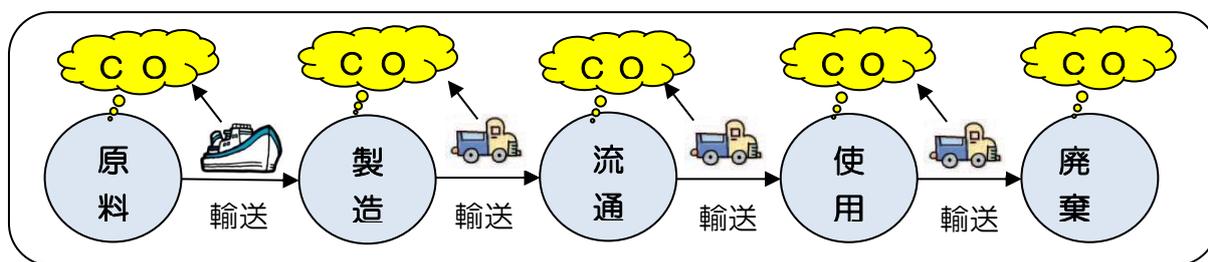
プログラム名		地球の環境にやさしい生活を学ぶ ①				
特 徴		“地球温暖化について学ぶ”と“宝探し”、“パズル”を組み合わせ楽しみながら学ぶ参加体験型学習です。教室、体育館など広い場所であればできます。使用する「E☆カプセル」、「ことばカード」は環境省からの提供ツールです。				
	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル		
		4. 自然	⑤ 環境全般	6. 水・土・大気		
	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに、環境に関する知識の気づきを与え、日常生活での取り組みが、環境に対して大きな影響を与えることに興味を持ってもらいます みんなで力を合わせることで、環境にやさしい社会を作ることができるというイメージを伝え日常生活での取り組みを即します 				
プログラム概要	対象者	小学生 中学年				
	対象人数	30～100名				
	学習場所	教室、体育館				
	学習時間	45分×2				
	学習手順	<p>* 1時限目（45分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①映像を使い地球環境の現状と温暖化について学びます ②ポスター、スライドを見せながら、どのような点が環境にやさしくないかを問いかけ環境にやさしくない社会とはどんなことを考え学びます <p>* 2時限目（45分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ③環境にやさしくない社会をよくするために「E☆カプセル」の組立て完成したパズルに描かれているイラストは、何を表しているか考え、該当する「ことばカード」を選び確認してその意味を理解します ④完成したパズル全体を組立て出来上がった絵柄を見せどのような点がよいのか、何が変わったのか等を問いかけ環境にやさしい社会とはどんなことを理解します ⑤一人ひとりの力を合わせることで「環境にやさしい社会（家庭）をつくることができる」ということを伝えます 				
						
実施団体	団体名	イノシシ倶楽部		代表者名		
		いのししくらぶ		大和地 弘一（やまとじ ひろかず）		
	所在地・連絡先	住所	〒133-0051 江戸川区北小岩5-31-8			
		TEL	03-3650-1610	FAX	03-3650-1610	
		E-mail	yamatoji@mse.biglobe.ne.jp			

環境教育プログラム（総合学習等） No. 3

プログラム名		地球の環境にやさしい生活を学ぶ ②			
特徴		DVD観賞とパズル組み立てを楽しみながら“日常生活で環境にやさしいことは何かを学ぶ参加体験型学習です。使用する「E☆カプセル」は環境省からの提供ツールです。			
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ 4. 自然	2. 節水・雨水利用 ⑤ 環境全般	3. ごみ減量・リサイクル 6. 水・土・大気	
	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに、日常生活で環境にやさしいことは何かを学んでもらいます パズルを組み立てる楽しみを味わってもらいます 			
	対象者	小学生 特別支援学級			
	対象人数	20～30名			
	学習場所	教室			
	学習時間	45分×1（1時限目のみ）又は45分×2（1、2時限目）			
学習手順	<p>* 1時間目（45分）</p> <p>①DVD観賞（1） ドラマパート 地球の環境を守るため近未来からやってきた環境超人エコガイnderが活躍するドラマを鑑賞し日常生活の中で環境にいいことを考えてもらいます</p> <p>②DVD観賞（2） クイズパート ドラマパート鑑賞後にエコガイnderが質問する問題に答えます</p> <p>* 2時間目（45分）</p> <p>③ポスター、スライド等を見せながら環境にやさしくない生活とはどんなことを考えます</p> <p>④環境にやさしくない生活をよくするためにカプセル探しをした後に「E☆カプセル」を組み立てます</p> <p>⑤完成したパズル全体を組み立て出来上がった絵柄を見せどのような点がよいのか、何が変わったのか等を問いかけ環境にやさしい生活とはどんなことを理解します</p> <p>⑥「今日から環境によいことをしましょう」と伝えます</p>				
					
実施団体	団体名	イノシシ倶楽部		代表者名	
		いのししくらぶ		大和地 弘一（やまとじ ひろかず）	
	所在地・連絡先	住所	〒133-0051 江戸川区北小岩5-31-8		
		TEL	03-3650-1610	FAX	03-3650-1610
	E-mail	yamatoji@mse.biglobe.ne.jp			

環境教育プログラム（総合学習等） No. 4

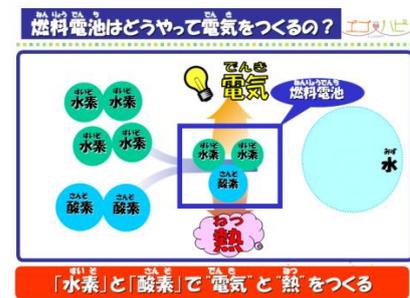
プログラム名		地球温暖化と私達の生活		
特徴		温暖化の主な原因である二酸化炭素は、製品が使用される時点だけではなく、モノの一生（ライフサイクル）、つまりモノを作るとき、運ぶ時、リサイクルするときも出ています。その全ての環境負荷を考える環境教育です。		
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル
		4. 自然	⑤. 環境全般	その他（ ）
	学習のねらい	講義とグループワークで学びます ・化石燃料による二酸化炭素（CO ₂ ）が原因で地球温暖化が進んでいることを知る ・普段の日常生活で、目に見えないところでもCO ₂ が出ていることに気づきを与える ・温暖化に対して日常で何ができるか、ライフスタイルについて考えさせるきっかけとする		
	対象者	中学生		
	対象人数	30～100名		
	学習時間	50分×2		
学習手順	＊1時間目（50分） ・地球温暖化の今について映像や動画で学びます ・クイズで考えるCO ₂ ・洗濯とタオルを題材にどこでどの程度CO ₂ が出ているか、それはどうしてかに気づきを与えます ＊2時間目（50分） ・温暖化カードを使い、いろいろな“物の一生”とCO ₂ の関係についてカードで遊びながら学びます ※エネルギー消費「カード」に替えて、「PCソフト」を使用する演習方法もあります			



実施団体	団体名	イノシシ倶楽部		代表者名		
		いのししくらぶ		大和地 弘一（やまとじ ひろかず）		
	所在地・連絡先	住所	〒133-0051 江戸川区北小岩5-31-8			
		TEL	03-3650-1610	FAX	03-3650-1610	
	E-mail	yamatoji@mse.biglobe.ne.jp				

プログラム名		都市ガスが家に届くまで		
特徴		都市ガスが届く道のりや、環境に優しく持続可能なエネルギーの重要性を、エネルギーのプロが解説します		
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル
		4. 自然	5. 環境全般	6. 水・土・大気
	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーが運ばれてくる道のり（ライフライン）について学ぶとともに、ふだん何気なく使っているエネルギーの貴重さ、暮らしの中での重要性への気づきを促します ・エネルギーにとって環境性や将来にわたって使えることの重要性に気付かせます 		
	対象者	小学4年生～6年生、中学生		
	対象人数	1クラスずつ実施 ※クラブも可		
	学習場所	原則として理科室、家庭科室などガス栓が使える教室		
	学習時間	小学生：45分×1 中学生：50分×1 ※3校時目以降でお申し込みください		
学習手順	<p>*1時限目（45分または50分）</p> <p>パワーポイント、サンプル品（ガスバーナー、石油・石炭、ガスのにおいサンプル、ガス管、ガスメーター）を使って解説を進めます</p> <ol style="list-style-type: none"> ① エネルギーさがし（家の中、学校、街） ② 都市ガスってなんだろう（都市ガスは何から作られている？/ガスの環境性） ③ 都市ガスが家に届くまで（ガス田～LNGタンカー～LNG基地～ガス管～ガスメーター～家） ④ 将来も使えるの？（シェールガス、メタンハイドレート） 			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・お申し込み時に、実施候補日を3つお知らせください（3校時目以降） ・実施1か月前頃におうかがいして事前のお打合せをさせていただきます ・開始1時間前から準備作業のために会場を使わせていただきます 			
				
実施団体	団体名	東京ガス（株）学校教育情報センター		代表者名
		とうきょうがす（かぶ）がっこうきょういくじょうほうせんたー		庄司 武（しょうじ たけし）
	所在地等	住所	〒167-0042 東京都杉並区西荻北 5-8-22 TG西荻ビル 4F	
	連絡先	TEL	03-5310-5578	FAX 03-5310-5569
	E-mail	tokyoedu@tokyo-gas.co.jp		

プログラム名		燃料電池ってなんだろう？～地球温暖化をいせぐために～		
特徴		地球温暖化を防ぎ、緩和できるようなエネルギーの作り方・使い方を燃料電池の発電実験をまじえて学びます（実験キットは全員分用意します）		
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ 4. 自然	2. 節水・雨水利用 5. 環境全般	3. ごみ減量・リサイクル 6. 水・土・大気
	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 火力発電から発生する二酸化炭素が温暖化の一因となっていることに気がきます 二酸化炭素を出さない発電方法である自然エネルギーの長所・短所を学びます 温暖化対策の切り札の一つとされる燃料電池による発電実験を行い、実用に耐えうるものであることを理解します 		
	対象者	小学生 高学年、中学生		
	対象人数	1クラスずつ実施（約40名/クラス以内を目安） ※クラブも可		
	学習場所	理科室、ランチルーム、家庭科室など校時ごとの移動が発生しない教室		
学習時間	小学生：45分×1 中学生：50分×1 ※3校時目以降でお申し込みください			
学習手順	<p>*1時限目（45分または50分）</p> <p>パワーポイント、実験キット（自然エネルギー、燃料電池）を使って解説を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 電気はどうやって作られている？ ⑥ 地球温暖化が起きる仕組み ⑦ 自然の力を利用する発電方法 ⑧ 燃料電池の仕組み、燃料電池実験、燃料電池のこれから※実験キットは全員分用意いたします 			
備考	<ul style="list-style-type: none"> お申し込み時に、実施候補日を3つお知らせください（3校時目以降） 実施1か月前頃におうかがいして事前のお打合せをさせていただきます 開始1時間前から準備作業のために会場を使わせていただきます 			



実施団体	団体名	東京ガス（株）学校教育情報センター		代表者名		
		とうきょうガス（かぶ）がっこうきょういくじょうほうせんたー		庄司 武（しょうじ たけし）		
	所在地等連絡先	住所	〒167-0042 東京都杉並区西荻北 5-8-22 TG西荻ビル 4F			
		TEL	03-5310-5578	FAX	03-5310-5569	
	E-mail	tokyoedu@tokyo-gas.co.jp				

環境教育プログラム（総合学習等） No. 7

プログラム名		環境によいことをしよう！！				
特徴		映像や体験を通し日常生活の中で環境によいことを学ぶ				
分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	③. ごみ減量・リサイクル			
	4. 自然	⑤. 環境全般	6. 水・土・大気			
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で環境に良いことはどんなことかを理解し実践につなげる。 ・体験を通じゴミをきちんと分別する、使えるものは再利用することを学ぶ。 					
対象者	小学生 1年生					
対象人数	30～80名					
学習場所	教室					
学習時間	45分					
学習手順	<p>*前半（25分）</p> <p>DVDを通して、節電、節水、ごみ減量等の問題に答え理解します。</p> <p>① DVD鑑賞 ドラマパート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の環境を守るため近未来からやってきた環境超人エコガイダーが活躍するドラマを鑑賞し日常生活の中で環境にいいことを考えてもらいます。 <p>② DVD鑑賞② クイズパート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラマパート鑑賞後にエコガイダーが質問する問題に答えます。 <p>*後半（20分）</p> <p>使わなくなったペットボトルのリサイクル等を学ぶ</p> <p>① ペットボトルのリサイクル後の製品は何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルでできた様々な製品（服、ネクタイ、定規、ボールペン等）を五感で感じてもらう。 <p>② ペットボトルの捨て方は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物を使い、捨て方を実際にやってもらい日常生活での行動を促す。 					
						
実施団体	団体名	イノシシ倶楽部		代表者名		
		いのししくらぶ		大和地 弘一（やまとじ ひろかず）		
	所在地等・連絡先	住所	〒133-0051 江戸川区北小岩5-31-8			
		TEL	03-3650-1610	FAX	03-3650-1610	
	E-mail	yamatoji@mse.biglobe.ne.jp				

環境教育プログラム（総合学習等） No. 8

プログラム名		エコ工作を通してリサイクルを学ぶ			
特 徴		工作（ものづくり）の喜びを味わいながら日常生活で環境にやさしいことは何かを学ぶ参加体験学習です。			
プ ロ グ ラ ム 概 要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	③. ごみ減量・リサイクル	
		4. 自然	⑤. 環境全般	6. 水・土・大気	
	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ工作を通し、日常生活の中でリサイクルの大切さを学ぶ。 ・ものづくりへの関心や絵を描く想像力、つくりだす喜びを味わえるようにする。 			
	対象者	小学生 低中学年			
	対象人数	30～80名			
	学習場所	教室			
	学習時間	90分版【1, 2, 3年生】		90分版【4年生】	
学習手順	<p>* 1 時 限 目（20分）</p> <p>使わなくなったペットボトルのリサイクル等を学ぶ</p> <p>①ペットボトルのリサイクル後の製品は何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルでできた様々な製品（服、ネクタイ、定規、ボールペン等）を五感で感じてもらう。 <p>②ペットボトルの捨て方は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物を使って実際に捨てる動作をしてもらい日常生活での行動を促す。 		<p>* 1 時 限 目（30分）</p> <p>ペットボトルができるまで等を学ぶ</p> <p>①誰もが使ったことがあるペットボトルがどのようにしてできるかを製造工程について実物を使って順番に並べ替え理解します。</p> <p>②ペットボトルは、一日どのくらい作られているか、そのエネルギーはどのくらいかをクイズ等で理解します。</p>		
	<p>* 1～2 時 限 目【1～4年生共通】</p> <p>1, 2, 3年生：70分 4年生：60分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CD コマづくり体験学習 <p>使わなくなったCD、ペットボトル等を使用した工作づくりを行います。</p>				
					
実 施 団 体	団体名		イノシシ倶楽部		
			いのししくらぶ		
	所在地等・連絡先		住所	〒133-0051 江戸川区北小岩5-31-8	
			TEL	03-3650-1610	FAX 03-3650-1610
		E-mail	yamatoji@mse.biglobe.ne.jp		

プログラム名		南極での生活からエコな生活について学ぶ			
特徴		極寒の中で少人数の要員が観測を継続するためには、可能な限り消費するエネルギーや水の量を減らすことが重要である。これらの体験を通じてエコな生活について学ぶ。			
プログラム概要	分類	①. 節電・省エネ	②. 節水・雨水利用	③. ごみ減量・リサイクル	
		④. 自然	⑤. 環境全般	⑥. 水・土・大気	
	学習のねらい	南極観測を実施している南極では、北半球の日本では体験できないような自然現象を体験する。また、極寒の中で少人数の要員が観測を継続するためには、可能な限り消費するエネルギーや水の量を減らすことが重要である。これらの生活の状況を紹介し、日本での生活と対比することにより、日々の生活で必要な対応を学ぶ。			
	対象者	小学校低学年（1～3年）・小学校高学年（4～6年）			
	対象人数	小学校低学年 30～50人、小学校高学年 30～100人			
	学習場所	教室、体育館			
	学習時間	低学年向け 30分×2（1、2時限のみ）、高学年向け 45分×2（1、2時限目） 学年全体あるいは複数学年を対象にした場合には、座学中心になる。			
	学習手順	<p>（1時限目） 南極での生活や国内との生活の違いを知るため、南極の自然の状況や観測の現状、得られた知識などの基礎的情報について、紹介し、理解を深める。</p> <p>（2時限目） 1時限目の基礎的な情報を元に、南極の氷やビデオ、南極で使用している装備品の違いを理解するため、実際に装備品を着用し、扇風機で風を当て風をどう防いでいるのかなどを理解する。</p>			
					
実施団体	団体名	南極 OB 会		代表者名	
		なんきょくおーびーかい		国分 征	
	所在地等・連絡先	住所	〒101-0065 千代田区西神田 2-3-2 牧ビル 301 号		
		TEL	03-5210-2252	FAX	03-5275-1635
	E-mail	nankyoku-ob@mbp.nifty.com			

プログラム名		南極から考える私達の生活			
特徴		地球環境としての南極での生活や自然現象を通して、私達の身近な環境を考えていく。			
プログラム概要	分類	①. 節電・省エネ	②. 節水・雨水利用	③. ごみ減量・リサイクル	④. 自然
		④. 自然	⑤. 環境全般	⑥. 水・土・大気	
	学習のねらい	私達が暮らしている身近な環境は地球の中では北半球の温帯域に位置づけられる。ここは比較的穏やかな気候であり、また人間社会の複雑な関係の中で、私達の生活が地球環境とどのように関連しているかは普段、気が付かないことが多い。それを気づかせてくれるのが南極や北極の極地の環境である。とくに、南極での生活と自然現象を題材として、身近な私達の生活と地球環境は実は大きく関係していることを考えさせる。			
	対象者	中・高校生			
	対象人数	30 ～100名			
	学習場所	教室、体育館、野外、公民館等			
	学習時間	45分×1（1時限のみ） 45分×2（1、2時限目）			
学習手順	<p>南極を題材として、私達の身近な環境を考えていく場合、上に示された分類の1～6までのすべてに当てはまることが本プログラムの特徴でもある。それは観測隊が南極で生活していることにも関係している。南極の生活と自然環境は地球の中での生活と自然において最も基本的、あるいはシンプルなシステムを提供してくれる。このことが南極を教材とする所以である。</p> <p>1時限目（45分）私達の身近な環境で起こった災害を考える。 東日本大地震、北海道胆振地方地震による津波、液状化から地震の仕組み等を学ぶ。単に自然現象としてだけではなく、省エネ、節電、節水をしなければならない理由を南極の生活から学ぶ。</p> <p>2次限目（45分）私達の身近な自然を地球規模で考える。 私達が住んでいる日本の温帯性気候は熱帯から極地域に至るまで段階的に変化が起きている気候の一つである。南極は極低温、強風、極夜、白夜に代表される諸現象から、日本の気候、気象を学ぶ。例えば、地震と大陸移動、冷媒としてのフロンガスとオゾンホール、二酸化炭素の増加と温暖化、地球の水の循環と南極氷床、生物分布と外来種。</p>				
オゾンホールは、なぜできる？		氷床深層コアによる過去100万年の地球の環境を知る 第1期掘削 1995年～1997年 2503m、ドリルのスタック 第2期掘削 2001年～2007年 3035.22mの掘削に成功			
実施団体	団体名	南極 OB 会		代表者名	
		なんきょくおーびーかい		国分 征	
	所在地等・連絡先	住所	〒101-0065 千代田区西神田 2-3-2 牧ビル 301 号		
		TEL	03-5210-2252	FAX	03-5275-1635
		E-mail	nankyoku-ob@mbp.nifty.com		

プログラム名		省エネナビを活用した「夏休みのエコ」～部屋の電気を測って節電しよう～			
特徴		夏休みに「省エネナビ」を使用して、測定したデータを基に節電に取り組む課題を見出し、解決に向けて自分の生活をふりかえると共に、自分が出来る事を進んで実践する力を育みます。			
プログラム概要	分類	① 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル	
		4. 自然	5. 環境全般	その他（ ）	
	学習のねらい	地球温暖化防止と省エネの大切さを理解した上で、夏休み等を利用して家庭で主に児童が使う家電の節電方法を考え、実行し、その効果を定量的に確認することで、環境意識が高まり節電行動につながります。			
	対象者	小学生 高学年			
	対象人数	30～100名			
	学習場所	教室			
	学習時間	45分×3			
学習手順	<p>導入：地球温暖化の影響と節電がその防止に必要なことを理解します。</p> <p>ステップ1：グループワーク</p> <p>①個人で節電方法を考えます</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が主に使っている家電の節電方法を考えます <p>②班で話し合います</p> <ul style="list-style-type: none"> 各人が書いた節電方法を発表し合い、お互いに意見交換してよい方法は取り入れて見直します <p>③各班の代表が発表します</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の班の節電方法でよい方法を取り入れます <p>ステップ2：省エネナビを使って自宅の家電を測定します</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みに1カ月測定します <p>ステップ3：グループワーク</p> <p>① 節電の取り組みをふりかえる</p> <ul style="list-style-type: none"> 「僕は・私はこうして節電します」と各人に夏休みに1カ月測定結果を見て「僕は・私はこうして節電できた」シートに記入し、節電の取り組み結果をふりかえます <p>②班で話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々に発表し合い、お互いに感想を述べます <p>③各班の代表が発表し質疑応答します</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表した内容に対する講師からのコメントをします 各人がふりかえます 				
実施団体	団体名	イノシシ倶楽部		代表者名	
		いのししくらぶ		大和地 弘一（やまとじ ひろかず）	
	所在地・連絡先	住所	〒133-0051 江戸川区北小岩5-31-8		
		TEL	03-3650-1610	FAX	03-3650-1610
	E-mail	yamatoji@mse.biglobe.ne.jp			



環境教育プログラム（総合学習等） No. 12

プログラム名		どうやって【みどりのカーテン】ができるの？ ～ 摘芯と誘引 ～				
特徴		みどりのカーテンの目的を理解し、カーテンづくりのノウハウを学びます				
プログラム概要	分類	①. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル		
		4. 自然	5. 環境全般	6. 水・土・大気		
	学習のねらい	映像・画像・体験やクイズを交えながら地球温暖化の仕組みや問題点について知り地球温暖化防止のために取り組み始めたゴーヤの栽培で、背丈ほどになったゴーヤが、この後どんなふう成長して「みどりのカーテン」になるのか、どんな世話が必要なのかを理解し実践する。				
	対象者	小学生 中・高学年				
	対象人数	35～80名				
	学習場所	教室、多目的室、運動場（花壇）				
	学習時間	60分版		90分版		
学習手引	*前半（20分） 「みどりのカーテン」について学ぶ ・みどりのカーテンと地球温暖化防止 ・みどりのカーテンを上手に作る方法 ・摘芯（てきしん）、誘引（ゆういん）とは		*1時限目（30分） 地球温暖化について学ぶ ・地球温暖化とはどうゆう事かな？ ・温室効果ガスはどうして増えるの？ ・地球温暖化が進むとどうなる？			
	*後半（40分） 体験学習 ・ゴーヤが育っている環境を観察しよう（ネットの張、水やり、除草） ・摘芯のやり方説明 ⇒ みんなで体験 ・誘引のやり方説明 ⇒ みんなで体験		*2時限目（60分） 「みどりのカーテン」について学ぶ ・みどりのカーテンと地球温暖化防止 ・みどりのカーテンを上手に作る方法 ・摘芯（てきしん）、誘引（ゆういん）とは 体験学習 ・ゴーヤが育っている環境を観察しよう（ネットの張、水やり、除草） ・摘芯のやり方説明 ⇒ みんなで体験 ・誘引のやり方説明 ⇒ みんなで体験			
						
実施団体	団体名	低炭素社会づくり委員会		代表者名		
		ていたんそしゃかいづくりいいんかい		水上泰輔（みずかみ たいすけ）		
	所在地等・連絡先	住所	〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀 3F			
		TEL	03-5659-1651	FAX	03-5659-1677	
E-mail		edogawa-ecocenter7@bz04.plala.or.jp				

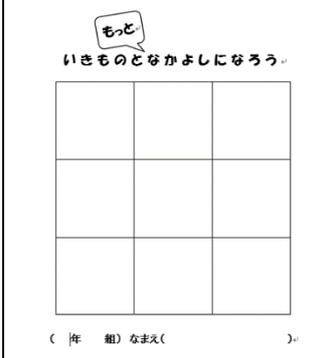
プログラム名		育むエコ食～エコ・クッキングと食育を学ぼう～			
特徴		環境のことを考えながら、自分の色々な感覚を使って、食材選び～調理～食事～片づけを行うポイントを実習を通して学びます			
プログラム概要	分類	①. 節電・省エネ 4. 自然	②. 節水・雨水利用 5. 環境全般		
			③. ごみ減量・リサイクル 6. 水・土・大気		
	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・食を通してできる省エネ・省資源を調理実習を通して学び、身につけます。 ・いろいろな感覚を使うことの大切さも体験します。 			
	対象者	小学生 高学年、中学生			
	対象人数	1クラスずつ実施 ※1クラスにつき2校時つかいます			
	学習場所	家庭科室			
	学習時間	小学生：90分×1 中学生：100分×1 ※3校時目以降でお申し込みください			
学習手順	<p>*1時限目（90分または100分） ※2校時つかいます</p> <p>パワーポイントによるポイント解説、調理講師のデモ、実習となります</p> <p>⑨ エコと食育のポイント解説（食材選び～調理～食事～片づけ）</p> <p>⑩ 調理講師による調理デモンストレーション</p> <p>⑪ 調理実習（小学校：カラフル野菜スープ、中学校：ツナ入りナポリタン）</p> <p>⑫ 試食・片づけ・まとめ</p>				
備考	<p>・使用する食材、調理器具は学校様にてご用意ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー有無確認の書面をクラスごとにご提供いただきます ・お申し込み時に、実施候補日を3つお知らせください（3校時目以降） ・実施1か月前頃におうかがいして事前のお打合せをさせていただきます ・開始1時間前から準備作業のために会場を使わせていただきます 				
					
実施団体	団体名	東京ガス（株）学校教育情報センター		代表者名	
		とうきょうガス（かぶ）がっこうきょういくじょうほうせんたー		庄司 武（しょうじ たけし）	
	所在地等・連絡先	住所	〒167-0042 杉並区西荻北 5-8-22 TG西荻ビル 4F		
		TEL	03-5310-5578	FAX	03-5310-5569
E-mail	tokyoedu@tokyo-gas.co.jp				

プログラム名		リサイクルについて学ぶ				
特徴		DVD観賞とエコ工作を楽しみながら“ペットボトル”リサイクルを学びます。				
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	③. ごみ減量・リサイクル		
		4. 自然	5. 環境全般	6. 水・土・大気		
	学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD観賞し、日常生活で環境にやさしいことは何かを学びます。 ・エコ工作を楽しみながらペットボトルのリサイクルを学びます。 				
	対象者	小学生 特別支援学級				
	対象人数	20～30名				
	学習場所	教室				
学習時間	45分×2（1、2時限目）					
学習手順	*1時間目（45分） ①DVD観賞（1） ドラマパート 地球の環境を守るため近未来からやってきた環境超人エコガンダーが活躍するドラマを鑑賞し日常生活の中で環境にいいことを考えてもらいます。 ②DVD観賞（2） クイズパート ドラマパート鑑賞後にエコガンダーが質問する問題に答えます。					
	*2時間目（45分） ①エコ工作と作った製品で楽しめます（以下の中から選択となります） ・ペットボトル風車 ・CDコマ ・メリーゴーランド ②工作で使用するペットボトルの捨て方やリサイクル製品を見せながらリサイクルの話をしてもらいます。 ③「今日から環境によいことをしましょう」と伝えます。					
						
実施団体	団体名		イノシシ倶楽部		代表者名	
			いのししくらぶ		大和地 弘一（やまとじ ひろかず）	
	所在地・連絡先		住所	〒133-0051 江戸川区北小岩5-31-8		
			TEL	03-3650-1610	FAX	03-3650-1610
E-mail			yamatoji@mse.biglobe.ne.jp			

プログラム名		ごみを減らす方法を買うときから考えよう		
特 徴		児童が好きなお菓子を対象に、グループワークを中心とした体験学習です。食べ終わるとごみになるものは何か？包装の役割は何か？を話し合いそれによって、買い物の時には、まず必要かどうかを考えて、できるだけ環境にやさしいものを選ぶことに気づきを与える環境教育です。		
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	③. ごみ減量・リサイクル
		4. 自然	5. 環境全般	その他（ ）
	学習のねらい	容器包装ごみを減らす方法を「捨てる」時ではなく「買う」時から考え買い物の時にはまず必要かどうかを考え、できるだけ環境負荷ができるだけ小さい製品を購入することに気づくことを目指します。		
	対象者	小学生 高学年		
	対象人数	30～100名		
	学習場所	教室		
	学習時間	45分×2		
学習手順	<p>導入：講座のねらい「ごみを減らす方法を買うときから考えよう」</p> <p>ステップ1：食べ終わると「ごみ」なるものはいくつある？ 容器包装が異なる品物（3種類）のうち、各グループで1種類の品物を担当します。グループ内で品物の実物を見て、中身を食べ終わるとごみになるものはいくつあるのかを話し合い、数えます。</p> <p>ステップ2：「ごみ」なるものは、いるもの？いないもの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ステップ1であげられた「ごみ」は、買った時に必要であったか（ごみになる前の役割は何か）考えます。 グループ内でフリップ「いるもの？いないもの？」の該当欄に、各自1つシールを貼ります。「いる」または「いない」と思った理由を話し合います。 各グループで話し合った結果を発表し、全体で共有します。 各グループの発表内容を下記の視点で整理します。 <p>ステップ3：買う時から考えるグリーン購入</p> <ul style="list-style-type: none"> 大人が選んだ「容器包装が少ない品物」の事例を紹介します。 ごみを減らすには、作る量を減らす・長く使う・どうしても不要な時にはリサイクルできると良いこと（3R：Reduce、Reuse、Recycle）を説明します。 みんなが買い物の時に環境を考えて品物を選ぶと、選んだ品物の人気が出て、世の中に広がり、品物の作り方・売り方（社会）を変えること（グリーン購入）を説明します。 グリーン購入クイズを行い、自分ができるとは何かを確認します。 			
実施団体	団体名	資源と環境の教育を考える会 「エコが見える学校」	事務局	
			高岡 由紀子（たかおか ゆきこ）	

プログラム名		あなたはどうやってごみを減らしますか？			
特 徴		<p>私たちは毎日 1 kgのごみを出しています。どうやってごみを減らすか、減らすことでどんな良いことがあるのか、グループワークを中心とした体験学習です。実物のごみを分別して3R について話し合います。分別したごみの中から3つのごみを例としてリサイクルの実態を学習します。ごみを減らすことにより地球温暖化防止や資源を大事にする気づきを与える環境教育です。</p>			
プ ロ グ ラ ム 概 要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	③. ごみ減量・リサイクル	
		4. 自然	5. 環境全般	その他()	
	学習のねらい	<p>商品を捨てたり、購入する時に商品に記載してある環境マーク（識別マーク）に注意することの重要性に気付くことにより、分別が正しくできることおよび3R の観点からさらに資源を大事にすることに気付くことを目指します。</p>			
	対象者	小学生 中・高学年			
	対象人数	一クラス（30名位）×クラス数			
	学習場所	教室			
	学習時間	45分×2			
学習手順	<p>導入：地球の素晴らしさを知ると共にごみが増えたらどうなるかを問題提起する。 ごみを減らすにはどうするかを考えよう。 ステップ1：1kgのごみってどれくらい？はかってみよう。 ・台秤にごみを乗せていき、1kgのごみがどれくらいかを実感する。 ステップ2：実際のごみを江戸川区の方式で分別してみよう。 ・班毎に実際のごみを江戸川区の分別の仕方に分ける。江戸川区の分別の仕方を知ると共に、ごみの商品に書いてある環境マーク（識別マーク）を見て、分別の可否を検証する。（グループ毎の検証） ・分別したごみの中にリデュース、リユースができる物がないかを発見する。 これらの作業から「ごみ」をどうしたら減らせるかグループのメンバーで話し合う。 ステップ3：リサイクルを実感しよう。 ・分別したごみ：牛乳パック、ペットボトル、びんの3品目を代表として、リサイクルの工程品や再生品を触り、実感して理解する。 ステップ4：ふろしき包みを体験しよう。 ・リデュースの方法のひとつとしてふろしき包みを体験する。 ステップ5：ごみを減らすことでどんな良いことがあるか？あなたは何をやるか？ ・班毎に話し合い、発表して、参加者全員の共有とする。</p>				
実 施 団 体	団体名	公益財団法人日本環境協会 こども環境相談室			
		高田 直子、吉野 榮一、岡本 正義、善財 裕美、西 寿子			
	所在地 連絡先	住所	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16		
		TEL	03-5643-6258	FAX	03-5643-6250
	E-mail	ecobox@e.email.ne.jp			

プログラム名		リサイクル木材で本棚をつくろう			
特 徴		「木のリサイクル」を日本全国に広める活動をしている全国木材資源リサイクル協会連合会の方を講師として迎え、原料及び燃料として廃木材がリサイクルされる行程を学びながら、木材のリサイクルが地球環境保護に貢献していることを、本棚作りを通して体験してもらう。			
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ ④. 自然	2. 節水・雨水利用 5. 環境全般	③. ごみ減量・リサイクル その他()	
	学習のねらい	使われなくなった木は、紙や板や発電燃料などに生まれ変わります。その仕組みを学び、リサイクル木材と間伐材の用途や違いを理解してもらう。またリサイクル木材での本棚づくりを通し、実際に触れることで木材の性質や特徴を学び、木のリサイクルについて考えるきっかけを提供したい。			
	対象者	小学生 中・高学年、中学生			
	対象人数	1回につき、20名以内			
	学習場所	教室			
	学習時間	120分			
学習手順	<p>導入：木のリサイクルのお話し</p> <p>ステップ1：木のリサイクルを学びます</p> <p>① 木材リサイクルについて、紙芝居またはパワーポイントで学ぶ。 木でつくられるもの、使う量、捨てる量、リサイクルの方法について説明し、捨てられた木が、原料及び燃料に活用される流れを学ぶ。木材資源のリサイクルがCO2削減や地球環境保護、日本のエネルギー自給へ貢献していることを理解してもらい、高学年以上にはバイオマスとしての木材利用と震災廃木材の活用についても考えてもらいたい。</p> <p>② ①と同時進行で、原料チップ、燃料チップ、リサイクルボード、間伐材の展示と、高学年には発電用ボイラーと木質バイオマスの説明も行う。</p> <p>ステップ2：本棚づくり</p> <p>① あらかじめ組立可能にしてあるリサイクルボードと、間伐材プレートを比較し、両者の違いを実感してもらう。</p> <p>② アクリル絵具を使用し、リサイクルボードや間伐材プレートに絵付けし、組立てる。</p>				
実施団体	団体名	認定特定非営利活動法人 全国木材資源リサイクル協会連合会			
		専務理事	はら のぶお 原 信男	事務局 とがわ ゆうこ 十川 有子	
	所在地・連絡先	住所	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-8 共同ビル 61 号		
		TEL	03-6661-1529	FAX	03-6661-2069
E-mail		n-hara@woodrecycle.gr.jp togawa@woodrecycle.gr.jp			

プログラム名		校庭の自然を見つけよう			
特徴		普段、遊んでいる校庭でも、五感を使って自然を感じたり、生きものに会ったりして自然に親しむことができる環境学習です。			
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ 4. 自然	2. 節水・雨水利用 5. 環境全般	3. ごみ減量・リサイクル 6. 水・土・大気	
	学習のねらい	① 水とみどり豊かな江戸川区には、身近に自然を感じることでできる場所がたくさんあります。このプログラムでは、公園や緑道、河川など、校外の自然空間を利用して身近な動植物とふれあい、都市における生物多様性の大切さを体感します。 ② 発見した生きものをビンゴカードに書き込み、ゲームを楽しみながら、自然への関心を深めます。			
	対象者	小学校 低学年（2年生） 中学年（3年生）			
	対象人数	60名			
	学習場所	校庭			
	学習時間	45分×2			
学習手順	<ul style="list-style-type: none"> 校庭の自然を、五感を使ってさがしてみようと呼びかけます。目に見えるもの（色、かたち・・・）、さわって感じる（すべすべ、ごつごつ・・・）、肌で感じる（風の冷たさや暖かさ・・・）、聞こえるもの（鳥の鳴き声・・・）、においなど具体的に話をします。（20分） 校庭で自然さがしをします。（50分） *ワークシートを用意して、チェックしたり、記入したりできるようにする。（50分） さがしたものをビンゴカード（9マス）に書きます。 カードに書いたものを発表し、ビンゴゲームを楽しみます。 				
					
実施団体	団体名	えどがわエコセンター環境教育・人材育成員委員会		代表者名	
	所在地等・連絡先	住所	〒336-0932 さいたま市緑区中尾 102-3		委員長 末吉 潤一
		TEL	048-873-0263	FAX	-
		E-mail	s_jch0221@jcom.home.ne.jp		

プログラム名		身近な生きものにふれてみよう ①				
特 徴		身近な植物や昆虫、水中生物を、近くの親水公園で観察したり、捕まえたりする体験を通し、自然に興味や関心をもつ環境学習です。				
プ ロ グ ラ ム 概 要	分類	1. 節電・省エネ 4. 自然	2. 節水・雨水利用 5. 環境全般	3. ごみ減量・リサイクル 6. 水・土・大気		
	学習のねらい	<p>① 水とみどり豊かな江戸川区には、身近に自然を感じることでできる場所がたくさんあります。このプログラムでは、公園や緑道、河川など、校外の自然空間を利用して身近な動植物とふれあい、都市における生物多様性の大切さを体感します。</p> <p>② 捕まえた生きものを教室で飼育し、生きものとふえあう活動につなげます。</p>				
	対象者	小学校 低学年（2年生） 中学年（3年生）				
	対象人数	60名				
	学習場所	区内親水公園、親水緑道、親水河川				
	学習時間	45分×2				
学習手順	<ul style="list-style-type: none"> 学校の近くの公園、緑道、親水河川には、どんな生きものがいるか、普段の生活で見たり、触れたりしていることから、予想を話し合います。（20分） パネルを用意しておき、児童からでた意見をパネルで確認します。 現地に出かけ、生きものさがしを楽しみます。捕まえた生きものは水槽に入れ、教室に持って帰ります（移動含め 50分） 見つけた生きものについて発表し、予想したパネルの写真の生きものがいたかどうかみんなで確認します。シールなどを使って、多い少ないをあらわします（20分） 					
						
実 施 団 体	団体名	えどがわエコセンター環境教育・人材育成員委員会			代表者名	
	所在地等・ 連絡先	住所	〒336-0932 さいたま市緑区中尾 102-3			委員長 末吉 潤一
		TEL	048-873-0263		FAX	-
		E-mail	s_jch0221@jcom.home.ne.jp)			

環境教育プログラム（総合学習等） No. 21

プログラム名		身近な生きものにふれてみよう ② 生きものさがし（校内編）				
特 徴		身近な植物や昆虫、水中や土壌の生物等を通じて生息環境とのつながりを学ぶ環境学習プログラムです。「子ども未来館」の出前教室と提携しています。				
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル		
		④ 自然	5. 環境全般	6. 水・土・大気		
	ねらい	① 校庭やビオトープなどにすむ動物や植物を取り上げ、生態・生息環境を調べることで身近な自然への理解を深めます。 ② ふだん何気なく見ている身のまわりにさまざまな生物が隠れ住んでいることを発見し、多様な生物とのつきあい方を感じ取ります。 ③じっくり観察することで、自然の神秘、いのちの大切さを体感します。				
	対象者	小学生 中・高学年 *低学年については別途相談				
	対象人数	50名				
	学習場所	校庭、畑、校内の池やビオトープ等				
	学習時間	45分×2				
学習手順	利用するフィールドによって手順は異なりますので、担当の先生と相談しながら進めていきます。					
備考	・できれば春～秋の期間がのぞましい。					
						
						
実施団体	団体名	自然共生社会づくり委員会		代表者名		
		しぜんきょうせい しゃかいづくりいいんかい		中嶋 美南子（なかじま みなこ）		
	所在地・連絡先	住所	〒134-0091 江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀3階			
		TEL	03-5659-1651	FAX	03-5659-1677	
		E-mail				

環境教育プログラム（総合学習等） No. 22

プログラム名		身近な生きものにふれてみよう ③ 生きものさがし（校外編）			
特 徴		身近な植物や昆虫、水中生物等を通じて生息環境とのつながりを学ぶ環境学習プログラムです。「子ども未来館」の出前教室と提携しています。			
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ ④ 自然	2. 節水・雨水利用 5. 環境全般	3. ごみ減量・リサイクル 6. 水・土・大気	
	ねらい	<p>①水とみどり豊かな江戸川区には、身近に自然を感じることでできる場所がたくさんあります。このプログラムでは、公園や緑道、河川など、校外の自然空間を利用して身近な動植物とふれあい、都市における生物多様性の大切さを体感します。</p> <p>②外来生物や貴重種などについても調べたりすることで、都市の生物環境が現在直面している問題を感じ取ります。</p> <p>③人々の暮らしに利用されている動植物にも触れ、自然のじょうずな利用の工夫を考えます。</p>			
	対象者	小学生 中・高学年 *低学年については別途相談			
	対象人数	50名			
	学習場所	区内自然フィールド			
	学習時間	45分×2			
	学習手順	利用するフィールドによって手順は異なりますので、担当の先生と相談しながら進めていきます。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> • できれば春～秋の期間がのぞましい。 • 現地集合現地解散 				
  					
実施団体	団体名	自然共生社会づくり委員会		代表者名	
		しぜんきょうせい しゃかいづくりいいんかい		中嶋 美南子（なかしま みなこ）	
	所在地・連絡先	〒134-0091 江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3階			
		TEL	03-5659-1651	FAX	03-5659-1677
	E-mail				

プログラム名		荒川の生き物調べ		
特 徴		荒川に生息するカニや魚と触れ合い、生物のつながりが水の浄化にも役立っていることを学びます。		
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル
		④. 自然	5. 環境全般	6. 水・土・大気
	ねらい	身近な川の自然への関心を高めるとともに、川で安全に活動する態度を養い、食物連鎖や生物多様性の理解を深めるきっかけを作ります。		
	対象者	小学生 中学年		
	対象人数	50人程度まで		
	学習場所	下平井水辺の楽校（荒川河川敷 JR総武線下流平井側）		
	学習時間	2時間程度		
学習手順	<ul style="list-style-type: none"> • はじめの会 15分 講師あいさつ、学習の流れ、安全注意 • 生物探し 30分～ • 生物観察 20分～ 生物を観察、ワークシートにスケッチ等 • 生物解説 15分～ • おわりの会 10分 <p>※主な生物：魚類、カニ類、貝類、ゴカイなど</p> <p>※できる限り保護者サポーターに見守りをお願い致します。</p>			
備考	<ul style="list-style-type: none"> • 実施時期は5～8月頃 • 現地集合現地解散 			



実施団体	団体名	下平井水辺の楽校		代表者名		
		しもひらいみずべのがっこう		中嶋 美南子（なかじま みなこ）		
	所在地 連絡先	住所	〒132-0033 江戸川区東小松川 3-35-13-204			
		TEL	03-5659-1651 （えどがわICセンター）	FAX		
		E-mail	shimohirai@jcom.zaq.ne.jp			

環境教育プログラム（総合学習等） No. 24

プログラム名		葛西臨海たんけん隊 海洋教育出前授業		
特徴		海洋のすばらしさを出前授業で生徒児童に理解してもらいます		
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル
		④. 自然	5. 環境全般	6. 水・土・大気
	ねらい	江戸川区内を流れる多くの河川や海など、その豊かな自然環境について関心を高めてもらい、自然の大切さを学んでもらう。 また、なぜそこに多くの生物が集まってくるのかを学びます。		
	対象者	小学生、中学生		
	対象人数	1 クラス 40 名程度		
	学習場所	理科室		
	学習時間	1 クラス 1 時限から 2 時限		
学習手順	1 クラスあたり 2 時限を原則として、理科室にて実施します。 一例ですが、本物のプランクトンを観察したり底生生物の観察を行ったりします。			
備考	学習指導要領に沿った形での授業対応を行います。希望や状況に応じて大学教員の派遣も対応可能です。			



実施団体	団体名	葛西臨海・環境教育フォーラム		代表者名		
		かさいりんかいかんきょうきょういくふおーらむ		福井 昌平 担当：宮嶋 隆行		
	所在地 連絡先	住所	東京都中野区中野 2-3-13CD 研究所 内			
		TEL	070-6440-9942	FAX		
E-mail		tanken@kasairinkai.com				

環境教育プログラム（総合学習等） No. 25

プログラム名		葛西臨海たんけん隊 海洋教育プログラム				
特徴		葛西臨海公園・海浜公園にて海洋に関する参加体験型プログラムを提供				
プログラム概要	分類	1. 節電・省エネ	2. 節水・雨水利用	3. ごみ減量・リサイクル		
		④ 自然	5. 環境全般	6. 水・土・大気		
	ねらい	江戸川区にある海が、生物の宝庫であることを、実際に現場に行き、採集や観察などの体験をすることであらためて自然の大切さを理解してもらう。				
	対象者	小学生、中学生				
	対象人数	20名程度～100名程度（1クラスから3クラス程度）				
	学習場所	葛西臨海公園・葛西海浜公園				
	学習時間	45分程度～2時間程度まで				
学習手順	（葛西臨海公園展望施設「クリスタルビュー」にてオリエンテーションののち、葛西海浜公園西なぎさにて生物採集・観察・解説・振り返りを実施。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・経験豊かなインタープリターと呼ばれるガイドが解説を行います。希望に応じて大学教員が担当することも可能です。 ・現地集合現地解散 					
						
実施団体	団体名	葛西臨海・環境教育フォーラム		代表者名		
		かさいりんかいかんきょうきょういくふおーらむ		福井 昌平 担当：宮嶋 隆行		
	所在地 連絡先	住所	東京都中野区中野 2-3-13CD 研究所 内			
		TEL	070-6440-9942	FAX		
		E-mail	tanken@kasairinkai.com			



【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 えどがわエコセンター

〒134-0091 江戸川区 船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3階

TEL : 03-5659-1651 (受付時間 : 平日 9:00-17:30)

FAX : 03-5659-1677 (受付時間 : 24時間)

e-mail : edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp